GEKIMIN

# 元気な民商ニュース

NO，467

発行:北区民主商工会
住所:北区豊島2-13-7
電話 3913−6632
FAX 3913−6741

商工新聞の読みどころ　▼再生可能エネルギーが地域を変える…1面 ▼民主党の復興増税…1面 ▼商売繁盛…1面 ▼主張…2面 ▼消費税増税やめよ…2面▼自然エネ…3面 ▼業者のよりどころ大きく…4面▼地域支える業者と交流…5面▼原発も空母もいらない…7面

ホームページ http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins/index.html　Eメール kitamins@ma.kitanet.ne.jp

## 中小商工業全国交流・研究集会

9月17日～18日の二日間、さいたま市を会場に、「住民・中小業者主体で持続可能な地域社会の構築を―グローバル化新時代の課題―」をテーマに、第17回中小商工業全国交流・研究集会を開催。3つのパネルディスカッションと15の分科会が行われ、全国から1300名が参加。北区からは4名が参加しました。

### ＝パネルディスカッション＝「誰のための復興か―東日本大震災ビジョンを問う」に参加して

浮間支部　園田啓太

中小商工業全国交流・研究集会パネルディスカッションに参加してきました。3月11日に起きたM9という未曽有の大地震・大津波は、岩手、宮城、福島の沿岸部だけでも、死者・行方不明者合わせて2万444名(8月現在)の人命を奪い、漁業、農業の生産基盤をことごとく破壊した。

復興に向けた日本政府の対応はきわめて遅く、そして理念に欠けている。復興相の初代担当者は「チーム・ドラゴン」を結成、数々のレッドカード(暴言)で9日間であえなく退場である。水産業復興に関しても、「水産業、特区」構想を突如として打ち出した。

その内容は漁業権の民間への解放、漁港の集約化と整備内容とするものであった。県漁協は真正面から反対を表明した。漁業者は何百年もの長い間海の環境資源を育み、海で働き、海の恵みで生きてきたこと、漁民は民間資本の参入、そして撤退による不利益を経験していること等をあげ、反対の理由、意志を明確に示した。

今、復興に取り組むべき課題は、被災者の正常な日常生活の復帰、コミュニティの維持、生業の復旧、創意と努力で自己復旧を試みている被災者集団の支援である。高度経済成長期を経て封印されてきた「正義」、21世紀に入って新自由主義の台頭のもとに、格差社会、閉塞社会、不安社会を生み出した今、正義とはなにかを人類が考え直す時期が来たと思います。

### ＝パネルディスカッション＝「TPPと中小業者」に参加して

事務局長　鳥居峰夫

#### TPPの本当の狙い

TPPについて農業以外にも影響があると漠然とは感じていましたが、今回、条約の中身を聞き、これほどまでに国民全体に深刻な影響を及ぼす危険な条約は絶対に許してはいけないと思いました。

TPP条約のポイントは、①条約締結国間での原則全貿易品目の関税撤廃と、②締結国の不利益になる保護的政策の禁止です。TPP条約は、そもそもシンガポール・チリ・ニュージーランド・ブルネイという比較的小さな4カ国が相互発展のために締結しました。ところがアメリカという大国が、「これは金儲けになる」と参加を表明してから変質。その金儲けの標的は日本です。交渉参加国と日本を合わせたGDP割合の9割をアメリカと日本の2国で占める、事実上の日米間の自由貿易協定であり、日本の市場開放に拍車をかけることが狙いです。

#### 医療や保健助成制度にも暗い影

日本では農業問題と捉えがちのこの条約。しかし、日本へ参加圧力を一番熱心に、アメリカ議会に働きかけているのは金融関係企業群です。狙いは日本の農業を潰し、農協が解体されたときに広がる農協共済のシェア獲得です。そして保護的政策の禁止は、民間保険会社の不利益になる全ての助け合い共済制度の淘汰(もちろん全商連共済も)に向かっていきます。

農業問題では、現在の食料自給率40％がTPP条約締結後は食料の90％を輸入に頼る国になります。農家を含む関連産業での失業者は、現在の完全失業者数を上回る350万人にも及ぶと、農水省が試算しました。そして、農産物の国際価格が高騰を続けている中でのTPP条約締結は「亡食国家」への道に突き進む事になります。

TPP条約は医療の分野での規制撤廃にも道を開きます。混合診療の拡大はアメリカの医薬品会社や保険会社の大きなビジネスチャンスになります。実際にアフラック社のCEOは講演でTPP締結の結果「患者負担が20％から30％に増加」「患者負担が増えると市場が拡大する」「日本で高齢化が進むということもあって、民間保険は我々に大きな機会をもたらす」とあけすけに語ったそうです。更に経営資本の自由化も求められていることから、現在禁止されている医療機関の株式会社化にも道が開かれ、行き着く先は国民皆保険制度の崩壊であるといわれます。

中小業者にとってもアメリカから大量流入される非関税輸入品との安値市場競争により淘汰される仲間が増大するでしょう。更に自治体に対しても、公契約条例や住宅リフォーム助成制度、商店街支援策など地元企業の活性化事業が保護的政策だとの圧力を受け、抑制されていくことにもなっていきます。

#### TPP推進は売国奴

なぜ日本の経団連・経済同友会などの財界・大企業はこれほど日本国民にとって不利益となる条約を奨励し、政府にアメリカと共に締結を迫っているのでしょうか？経団連の米倉会長はTPP参加により「日本に忠誠を誓う外国からの移住者をどんどん奨励すべきだ」と述べたそうです。人件費抑制のために、国内雇用においても出来るだけ安い労働者を使いたい。TPP参加により貧国から多数の最低賃金労働者を手に入れることが出来る。その結果、日本国民にも最低賃金で働く非正規労働者が増え、失業率も更に増大していくはずです。

TPPで大きな利益を得るのは、もはや国内企業とはいえないグローバル化した大企業だけと言われています。TPPを農業問題と捉え「1・5」％の農業市場のために98・5％の国民が犠牲になる」という論調が言われますが実態は「1％にも満たない大企業のために、90％以上の国民が犠牲になる」という事になります。国際競争力に勝つために自国民を見捨てるような今の財界人や、その影響力でしか政権維持が出来ない政権担当者たちに、彼らなりに国民のことを考えているのではという期待は捨てたほうが良いのではと感じます。

仕事を守るため、暮らしを守るため、日本の未来を守るため、TPP条約締結は絶対に許さない運動を民商も腰をすえて取り組まなければと思います。

# 全国業者婦人決起集会

増税いらない　仕事をよこせ　日本を変える

## 業者婦人（おんな）の一揆

**雲ひとつない快晴に恵まれた10月4日火曜日、千代田区・日比谷公会堂を会場に全国業者婦人決起集会を行いました。沖縄から北海道まで総勢１７００名が参加。開会前のエール交換では、司会に立った伊賀東婦協会長がそれぞれ都道府県名を呼ぶと、大きな歓声と工夫を凝らしたデコレーションで応え、会場は一気にヒートアップ。現状打開・要求実現に向けた集会にかける思いがひしひしと伝わるオープニングとなりました。**

この日、午前中には有楽町駅頭での消費税増税反対署名行動や、省庁交渉、東京電力への抗議行動などを行い、12時に日比谷公会堂へ集合しました。

始めに文化行事として、福島県いわき市のフラダンス教室、ハーラウ・ラウラーナニの方々による踊りを披露。激しいリズムに合わせ腰を振る姿はなんとも美しく、見ている方も「じっとしてはいられない…」と、なにか勘違いしてしまいそうな素敵なフラに魅了されてしまいました。

そしてエール交換、主催者挨拶と続きました。挨拶に立った全婦協・大石邦子会長は、所得税法56条廃止に向けた全国的な動きも紹介しながら「56条廃止に向けた取り組みは女性全体の人権問題。知恵と工夫で早期に勝ち取って行きたい」と、話されました。

来賓からの連帯の挨拶は、民主党・橋本勉衆議院議員と日本共産党・吉井英勝衆議院議員が行いました。橋本議員は「国税庁・税理士という経歴の私が見ても所得税法56条はおかしい。みなさんと意見を同じくする者として署名の紹介議員を引き受けました。」と挨拶。吉井議員は「人災である福島原発事故の賠償を、早期に勝ち取れるよう全力で頑張ります。」と、国会情勢報告も交えながら話されました。

続いて、各地からの代表発言が行われました。「津波で自宅も店も大被害を受け、クタクタになりながらも店の復旧最優先で片付けをしていたら「何か食べるものは無いですか？」と、避難所の人が訪ねて来たので、急遽２５０円の復興定食を始めた。儲けは無いけど私の出来ることで地域の力になりたい」（宮城）や、「全国のみなさんからの支援のおかげでこの間、本当に励まされてきた。送って頂いた大工道具で仕事が早期に再開出来た仲間もいる。まだまだ大変な状況だが、仲間と共に要求を出し合い、国や県にも現状を訴えて行きたい。」（岩手）「輸入肉にも負けない価格と和牛の美味しさを追求しながら畜産農家を続けてきた。生き物相手の仕事ですし、嫁に来てから1日たりとも休むことなく世話をし続けてきた牛３００頭が、3月11日の震災以降、セシウム被害により売れなくなった。堆肥として売っていた牛糞すらも売れなくなり無収入の状態が続いた。東京電力への損害賠償、そして安心して暮らせる地域を返せと、仲間と共に迫って行きたい。」（福島）など、たくさんの報告が参加者を励ましました。

### 決起集会に参加して

『業者婦人の一揆』スローガン通り業者婦人はどんな困難にも負けず元気だ。東北の人たちの発言には、もし自分だったらと考えると、私ももっと元気を出さなければと思う。所得税法56条廃止を求める請願を、多くの市議会・町議会が採択されている報告に北区でもなんとしてもという思いになる。まずは署名を集め部員を増やし、婦人部が元気になるのが一番の早道ではないかと思う。頑張ろう！東北の仲間と共に！

**婦人部長　土田サヨ**

## 10月23日民商まつり

# 模擬店紹介

あと2週間ほどに迫った民商まつり。模擬店出店者も決まりました♪ お馴染みの新鮮野菜やお米専門店による炊き込みご飯、ビーフシチューにドネルケバブ、焼きそばたこやきを始め、今年は新規出店者や飲食店の出店が増えてます。

フリルンタオルやなごころ化粧品の塩せっけんも出店しますのでリピーターのみなさんお楽しみに!

## お知らせ

**◆会内なんでも相談会**
経営・くらしのなんでも相談会です。**毎週木曜午後2時～**

**◆会員無料法律相談**
弁護士による無料法律相談会です。
**次回10月11日（火）午後2時から（要予約）**

**◆金融相談会虹の会**
第1・第3・第5水曜
2部構成で開催
昼の部2時～
夜の部7時～
次回10月19日見学歓迎

**◆脱原発　シンポジウム**
**どうなるどう変える自然エネルギーへの転換と北区のまちづくり**
10月27日（木）
18時30分より
北とぴあ902会議室
司会・鳥居峰夫

**◆ふれあいコンサート**
ひびけ希望のハーモニー
11月27日（日）13時半
北とぴあ14階
カナリアホール
会費・2000円
（収益金の全てを東日本大震災しえんとします。）
お申込は…
☎3915-7028　塚本

**◆記帳整理学習会**
10月11日（火）2時～
パソコン記帳も手書帳簿もOK。是非ご参加ください。